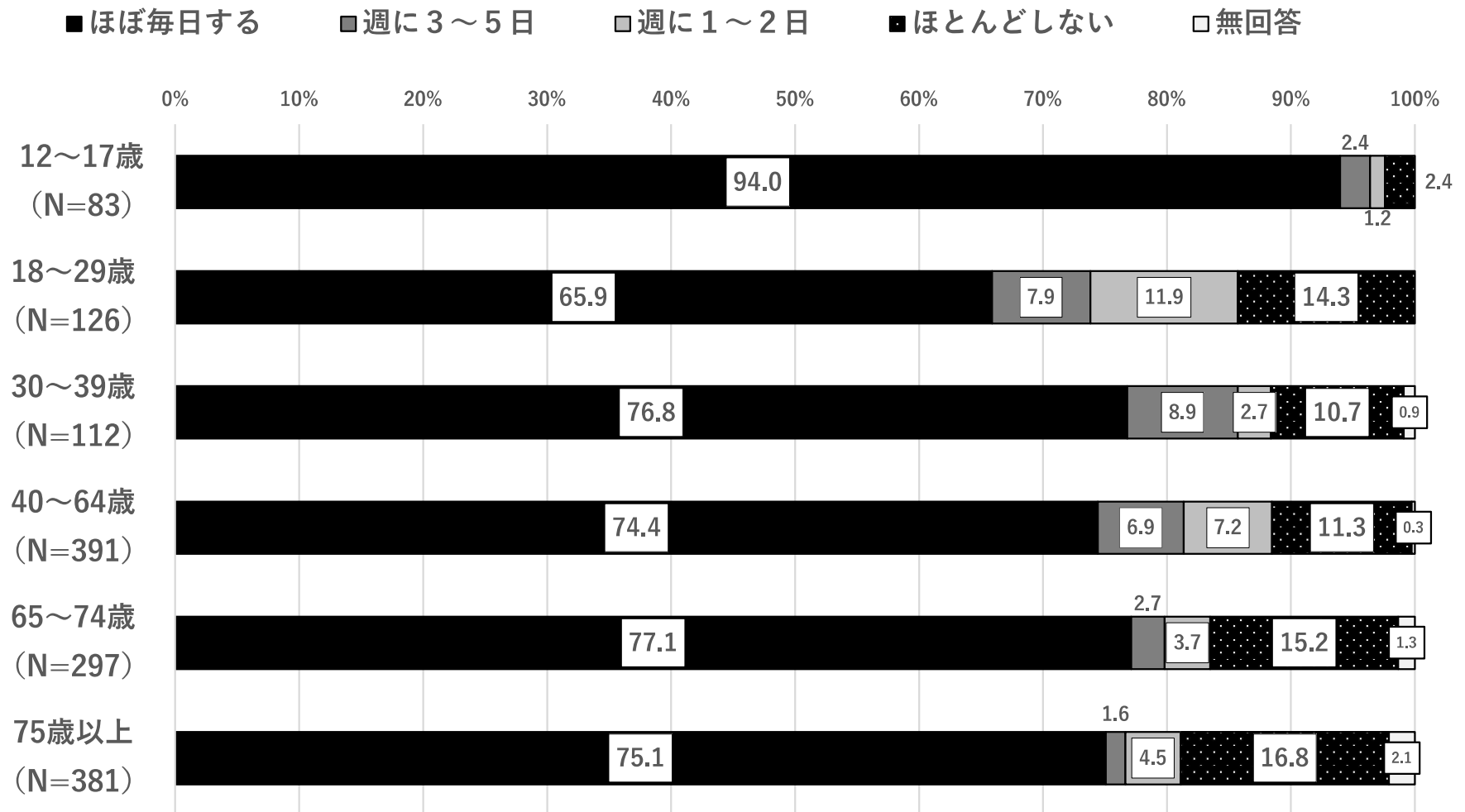


Q29-1.家族や友人との食事

ご本人は、1日1食以上、家族や友人と一緒に食事をしますか。（単一回答）

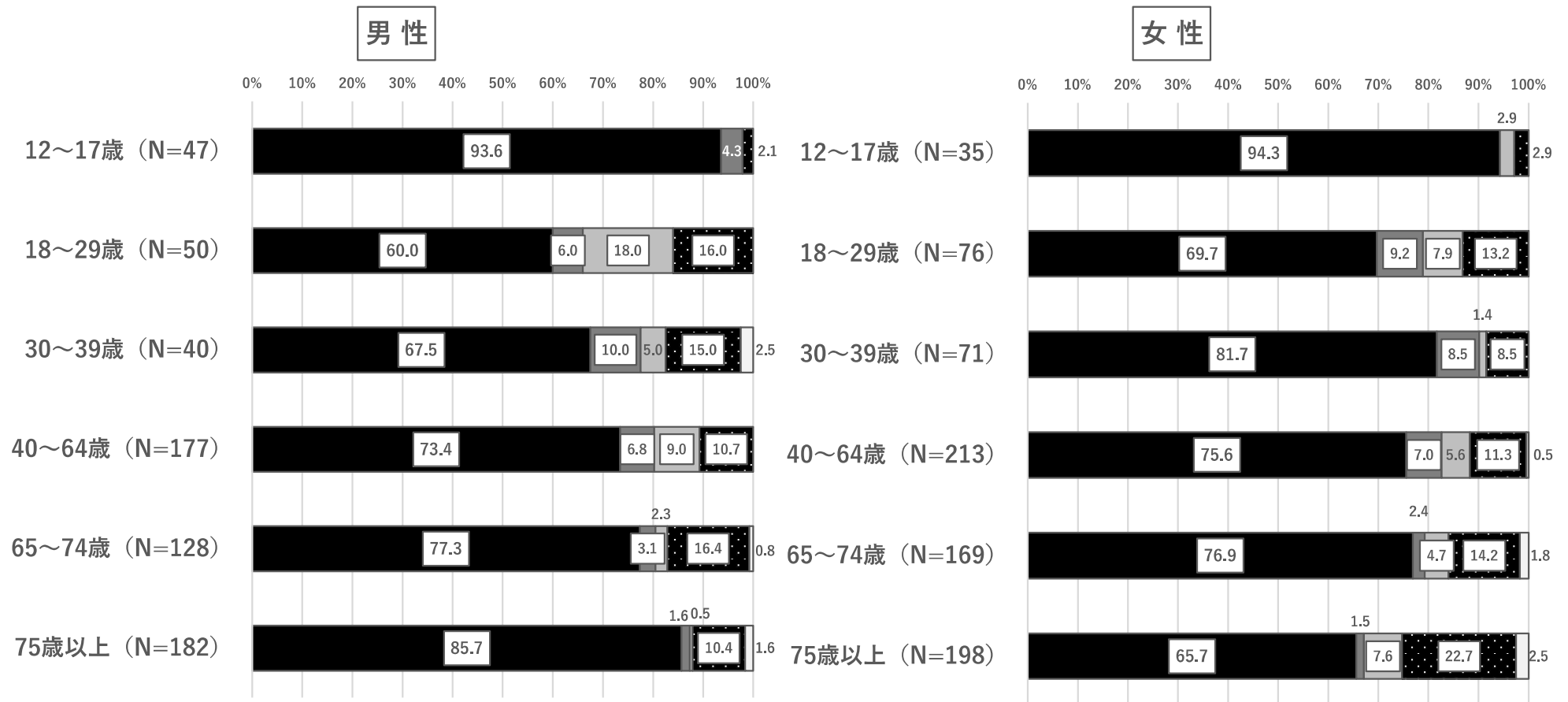


1日1食以上、家族や友人と一緒に食事をする人の割合は、「ほぼ毎日する」が“12~17歳”が94.0%で最も高く、他の年代では、7割程度となっています。また、18歳以上は、「ほとんどしない」が1割程度みられます。

Q29-2.家族や友人との食事【男女年代別】

ご本人は、1日1食以上、家族や友人と一緒に食事をしますか。（単一回答）

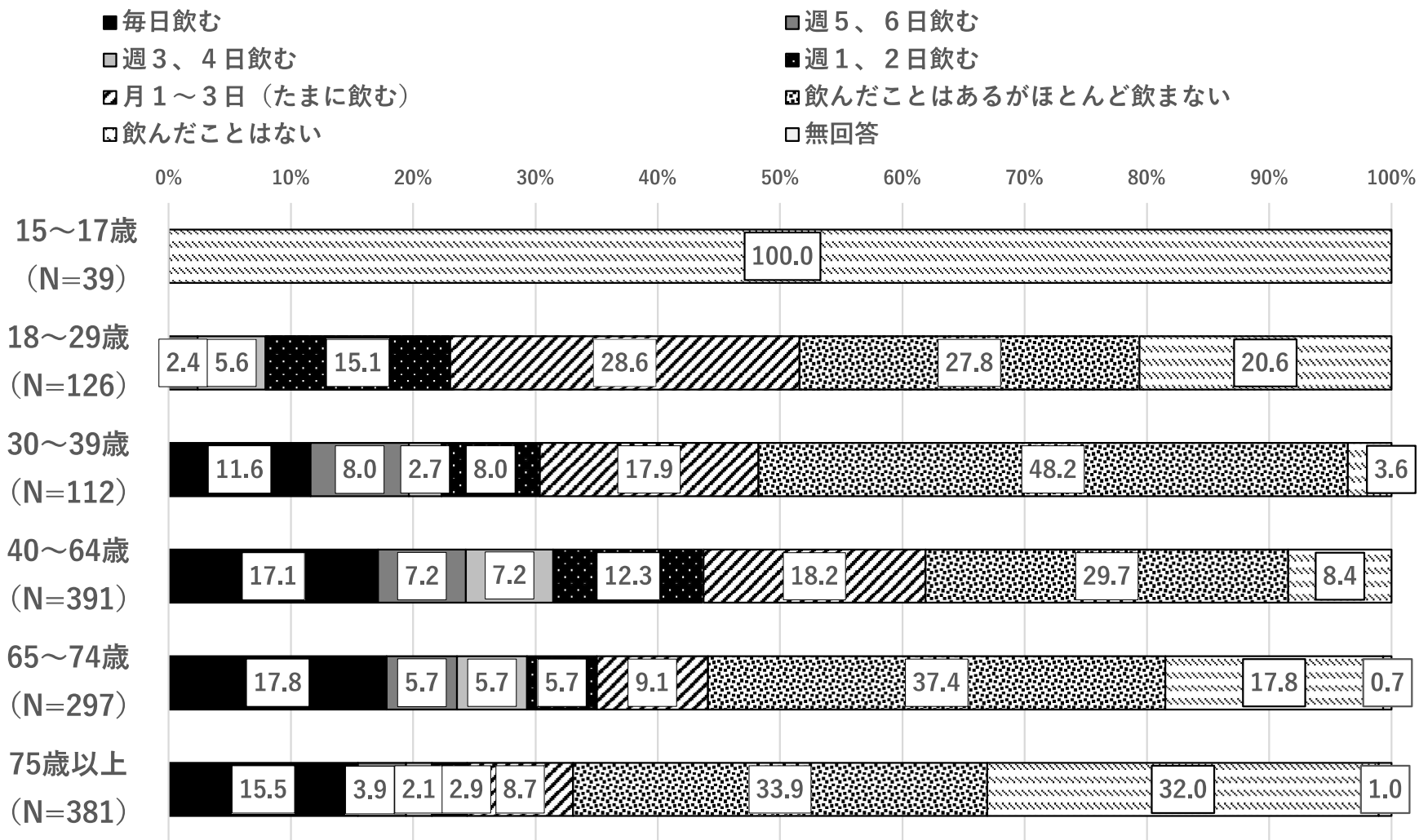
■ ほぼ毎日する ■ 週に3～5日 □ 週に1～2日 ■ ほとんどしない □ 無回答



男女年代別では、「ほぼ毎日する」と回答した人の割合は、男性に比べて女性が高い傾向にありますが、65歳以上では、男性が高くなっています。

Q30-1.飲酒の状況

【高校生以上】 ご本人は、お酒、ビールなどのアルコールを飲みますか。（単一回答）

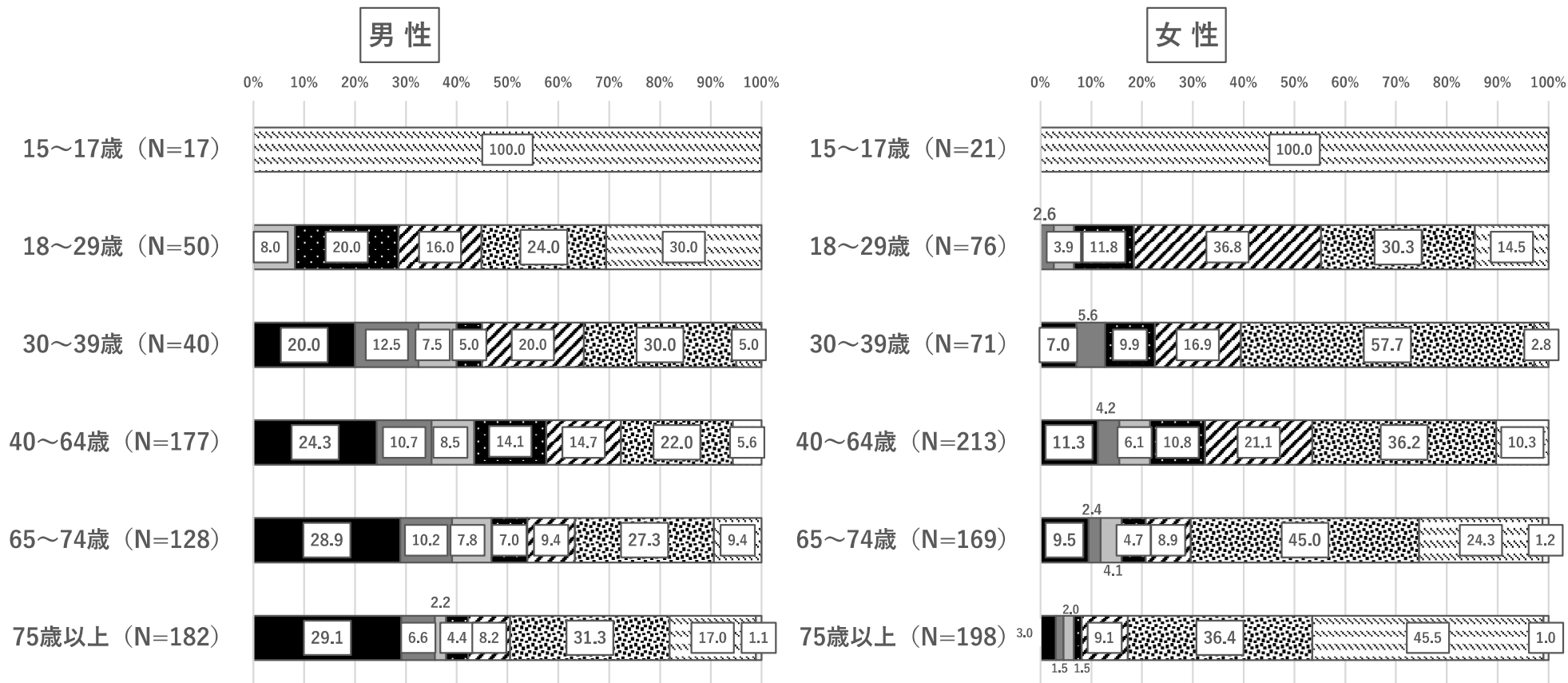


お酒、ビールなどを「週3回以上飲む（毎日飲む+週5,6日飲む+週3,4日飲む）」と回答した人の割合は“40～64歳”が31.5%で最も高くなっています。

Q30-2.飲酒の状況【男女年代別】

【高校生以上】 ご本人は、お酒、ビールなどのアルコールを飲みますか。（単一回答）

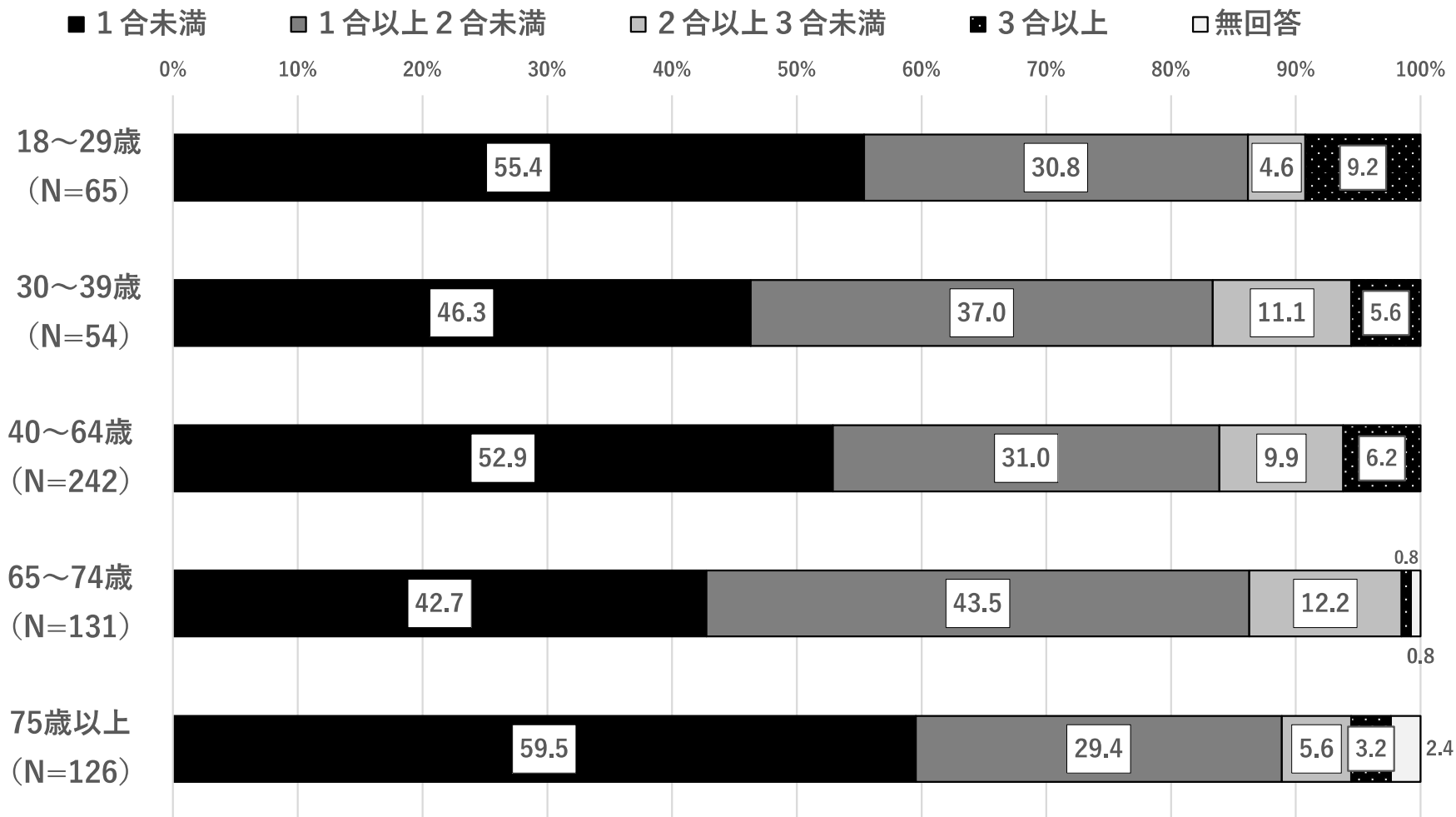
- 毎日飲む
- 週5、6日飲む
- 週3、4日飲む
- 週1、2日飲む
- 月1～3日（たまに飲む）
- ▨ 飲んだことはあるがほとんど飲まない
- 飲んだことはない
- 無回答



男女年代別では、「週3回以上飲む」と回答した人の割合は、男性が高い傾向にあります。

Q31.飲酒量

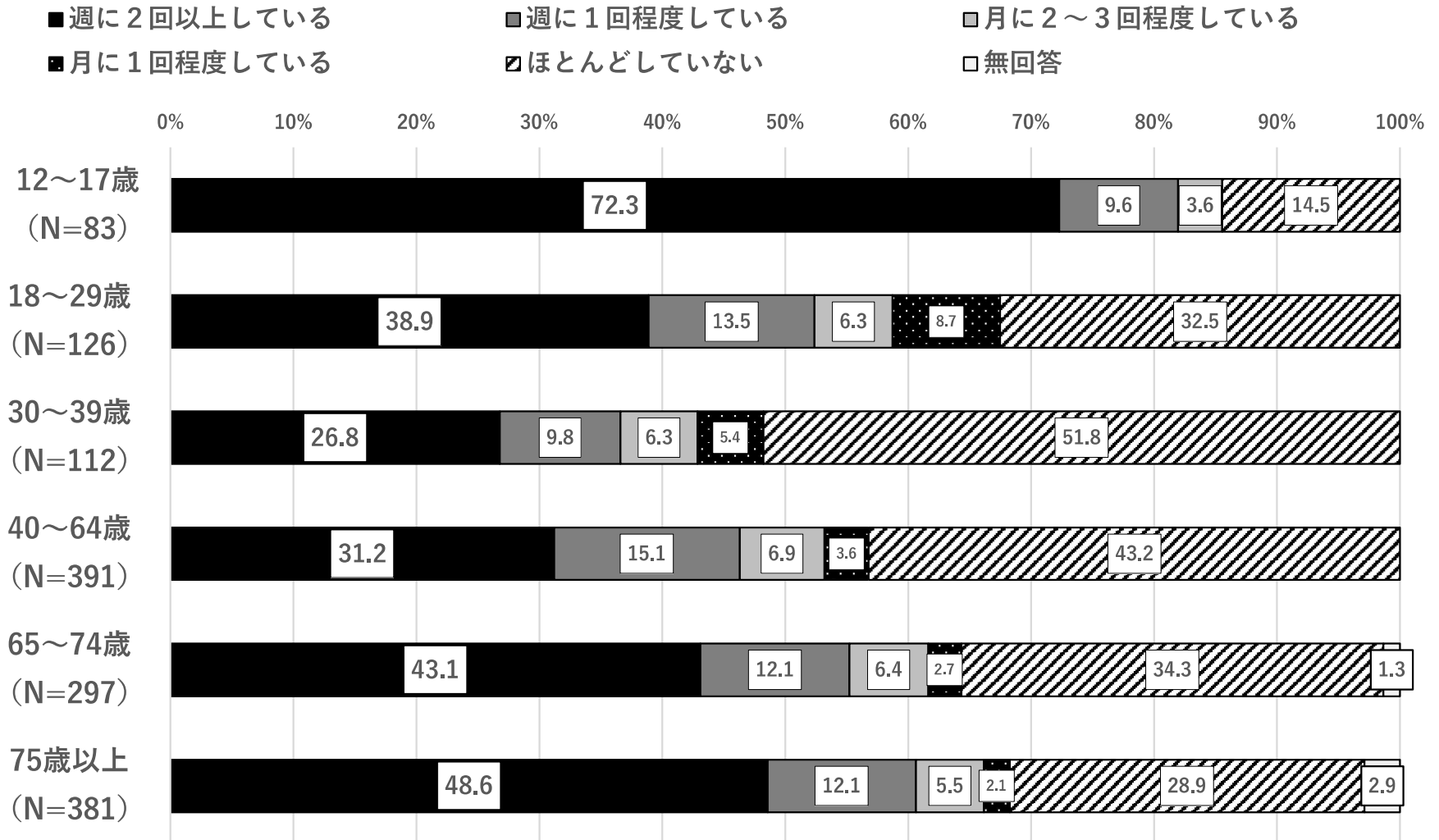
【前問で「飲む」を選んだ方】 1日に飲むアルコールの分量は、日本酒に換算すると平均どの程度ですか。（単一回答）
 ※日本酒1合=ビール中びん1本、焼酎0.5合、ウィスキーダブル1杯、ワイングラス2杯として換算



飲酒量は、「1合未満」+「1合以上2合未満」と回答した人の割合が、8割を超えています。

Q32.1日30分以上の運動の状況

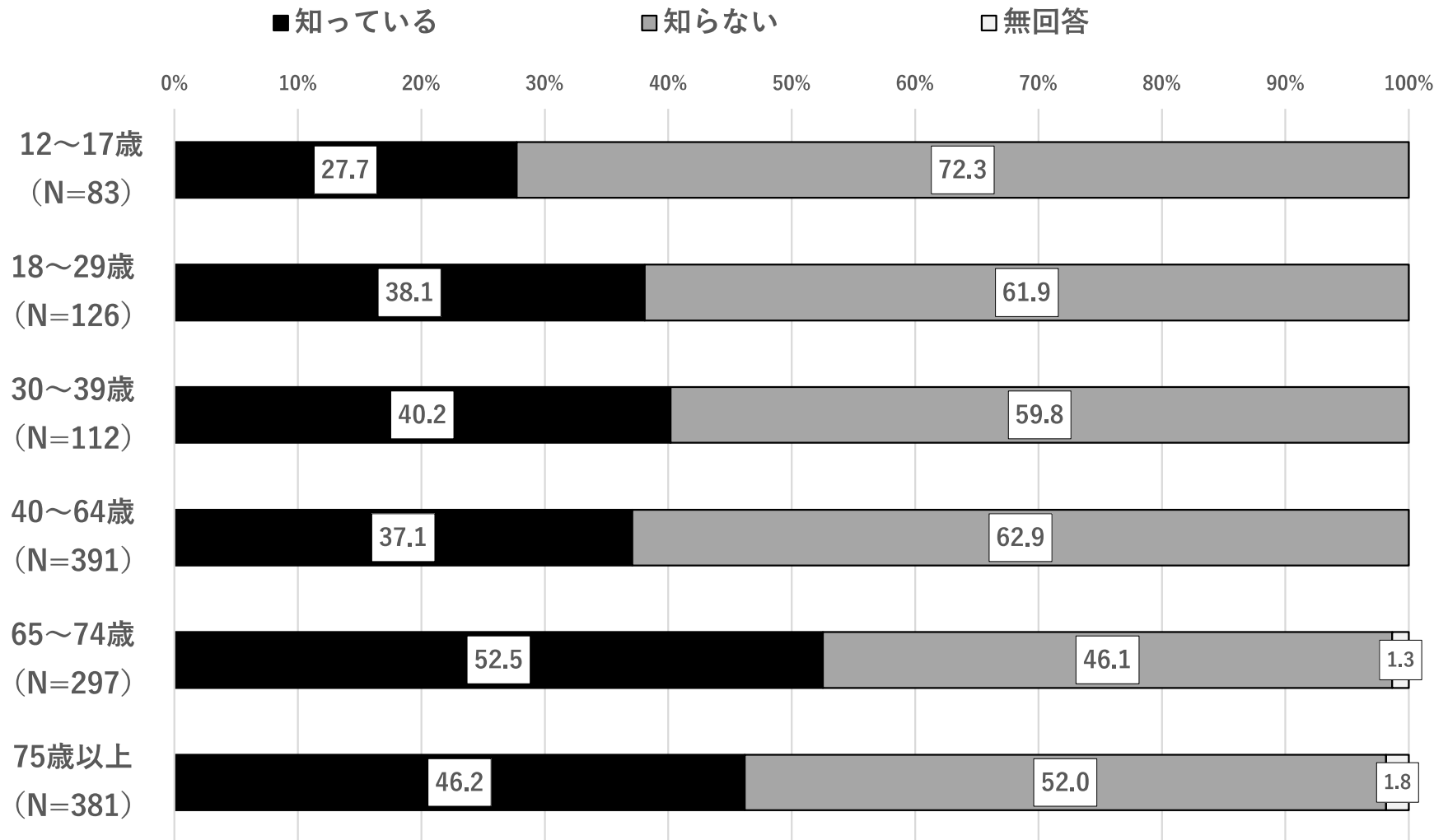
ご本人は、1日に30分以上の運動をしていますか。（単一回答）



1日30分以上の運動を「週2回以上している」と回答した人の割合は、「12~17歳」が72.3%で最も高く、「30~39歳」が26.8%で最も低くなっています。

Q33.むせ予防等のお口の体操の認知度

ご本人は、むせの予防や唾液の分泌を促進させるために、唇、頬、舌などを動かす体操があることを知っていますか。（単一回答）



お口の体操の認知度は、“65～74歳”が52.5%で最も高くなっています。

Q34.障がいのある方の歯科医療機関の受診の推進

障がいのある方の歯科医療機関の受診を推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

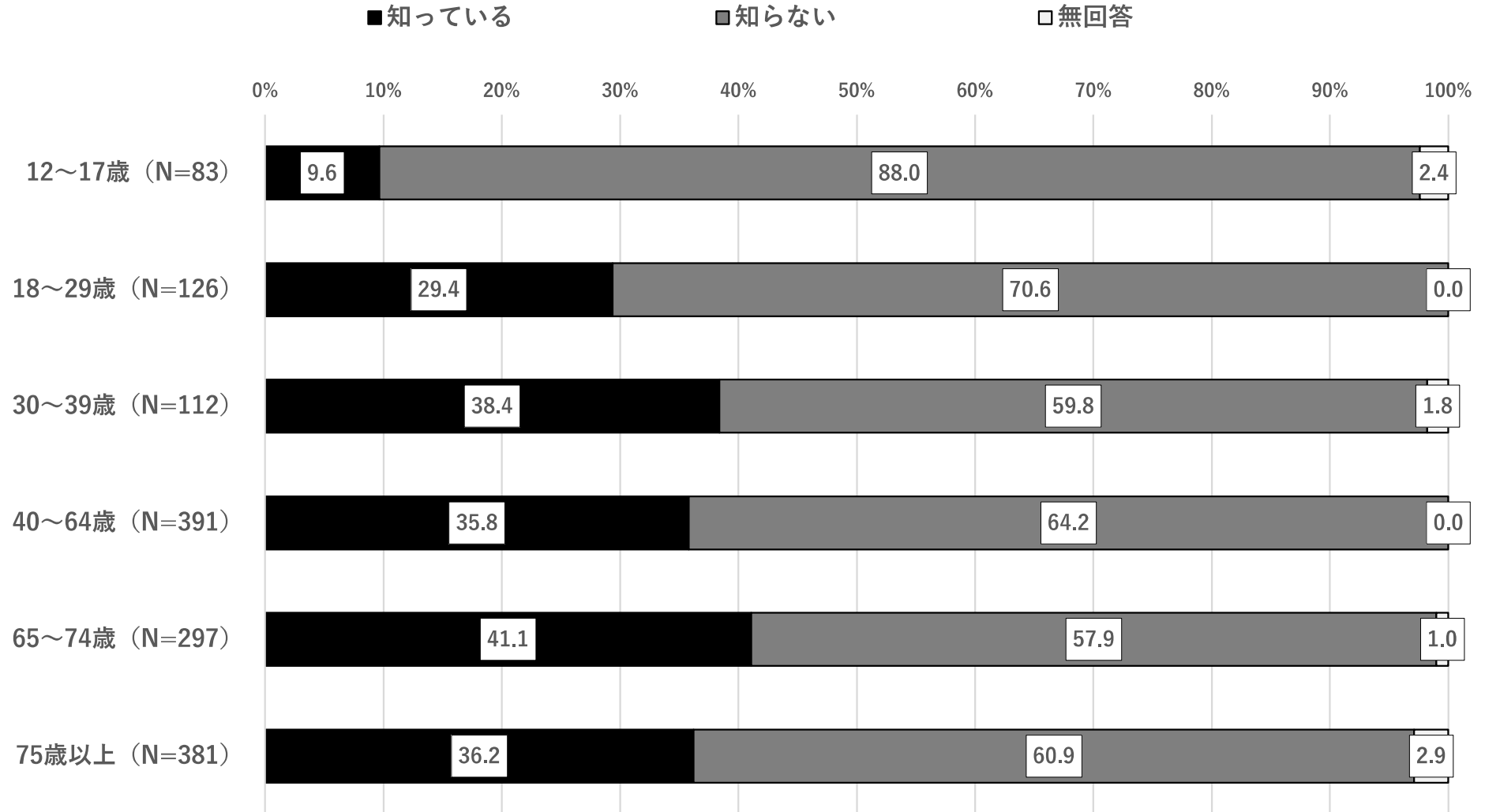
	12～17歳 (N=83)	18～29歳 (N=126)	30～39歳 (N=112)	40～64歳 (N=391)	65～74歳 (N=297)	75歳以上 (N=381)
医療機関内に障がいのある方の受診を推進していることの掲示をする（貼り紙・ホームページ等）	47.0	43.7	47.3	49.4	63.6	53.5
障がいのある方が専用で使用できる環境（部屋・時間帯等）がある	56.6	48.4	42.0	48.6	54.9	41.2
バリアフリー等の施設面が充実している	73.5	58.7	61.6	62.9	56.2	40.9
障がいのある方を積極的に受け入れている医療機関リストがある	51.8	55.6	55.4	58.3	59.3	46.2
障がいのある方がヘルプマークを付けている	36.1	17.5	18.8	19.2	15.5	16.3
その他	2.4	0.8	2.7	2.6	2.4	3.9

(%)

障がいのある方の歯科医療機関受診の推進では、64歳以下は「バリアフリー等の施設面が充実している」が最も高く、65歳以上は「医療機関内に障がいのある方の受診を推進していることの掲示をする」が最も高くなっています。

Q35.訪問歯科診療の認知度

ご本人は、寝たきりなどで歯科医院への通院が困難な場合に、歯科医師や歯科衛生士が訪問して、歯の治療や口腔ケアを受けられることを知っていますか。
(単一回答)



訪問歯科診療を「知っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が41.1%で最も高くなっています。

Q36.がんについて知っていること

がんについてご本人が知っていることは何ですか。（複数回答）

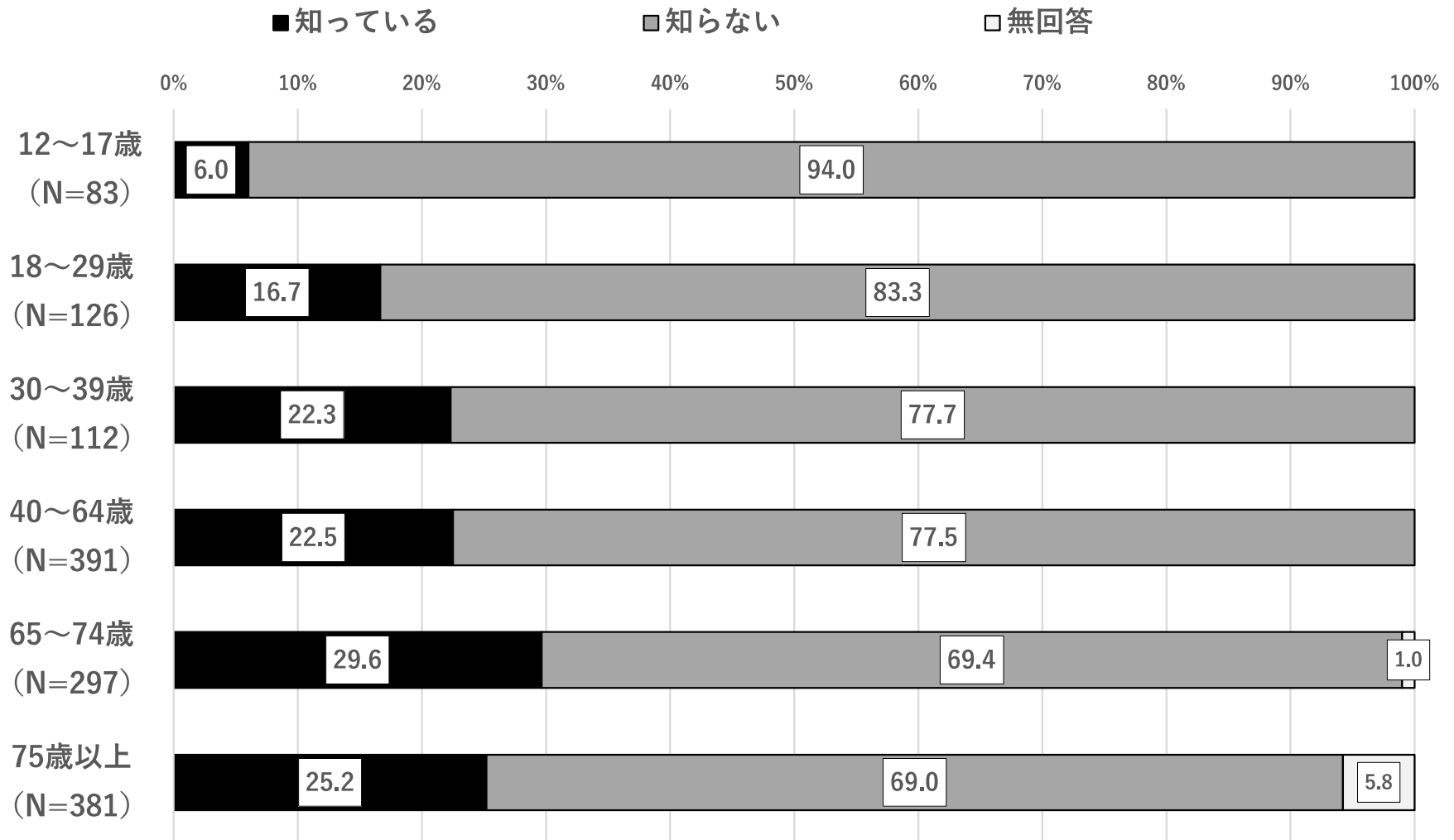
	12～17歳 (N=83)	18～29歳 (N=126)	30～39歳 (N=112)	40～64歳 (N=391)	65～74歳 (N=297)	75歳以上 (N=381)
日本人の2人に1人が、一生のうちに何らかのがんにかかると推計されている	61.4	42.9	54.5	55.5	59.3	54.1
たばこは、様々ながんの原因で、予防可能な最大の原因である	84.3	78.6	79.5	81.8	74.4	75.1
5つの健康習慣（禁煙、節酒、食事、運動、適正体重）で、がんになるリスクが低くなる	80.7	71.4	72.3	67.3	60.3	60.1
早期発見・治療をすることにより、約9割の人が5年後も生存できる	50.6	42.9	51.8	65.7	76.1	67.5
特定のウイルスや菌の感染が、がんの原因になる場合がある (例 ヒトパピローマウイルス (HPV) による子宮頸がん、ヘリコバクター・ピロリ (H.pylori) による胃がんなど)	30.1	37.3	42.0	53.2	52.5	35.7
子宮頸がんのように若い世代で増えているがんがある	53.0	60.3	60.7	59.1	58.2	43.3
がん治療の中心は、入院治療から外来通院治療と在宅療養へ移行してきている	13.3	16.7	27.7	39.1	41.8	30.4
自分らしく充実した生き方ができるよう、治療法を選択することができる	43.4	42.9	45.5	50.9	51.2	40.4
がんと診断された後、多くの方が就業を継続している	10.8	23.0	34.8	46.5	47.8	40.4
がんの新しい治療法に関する情報の中には、十分な科学的根拠がなく、注意を要するものがある	25.3	30.2	31.3	32.5	30.6	26.2
知っているものはない	4.8	7.9	2.7	1.8	1.7	3.7

がんについて知っていることは、「たばこは様々ながんの原因で、予防可能な最大の原因である」と回答した人の割合が、すべての年代において7割を超えています。

(%)

Q37.口腔ケアによる入院日数短縮の認知度

ご本人は、全身麻酔を伴う手術の前後や、がんによる化学療法や放射線治療を受ける前に歯科治療や口腔ケアを受けることで、肺炎などの合併症を予防し、入院日数が短くなることを知っていますか。（単一回答）



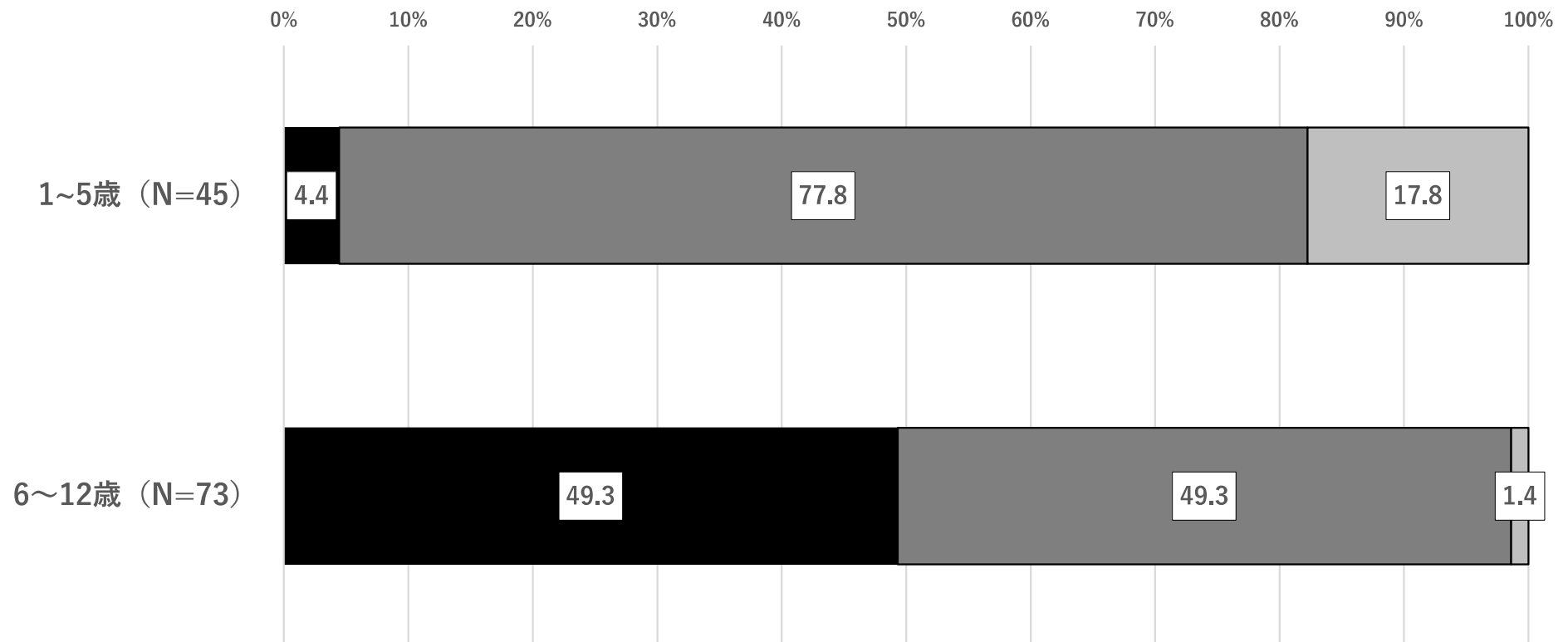
全身麻酔を伴う手術の前後の口腔ケアの効果を「知っている」と回答した人の割合は、「65～74歳」が29.6%で最も高くなっています。

Q38. 歯みがきの方法

【1～12歳（小学生以下）】

ご本人の歯みがきは、どのようにしていますか。（単一回答）

- 自分ひとりでみがく
- 自分でみがかず、保護者がみがく
- 無回答
- 自分でみがいた後に、保護者がみがく
- ほとんどみがかない



12歳以下で「自分でみがいた後に保護者がみがく」は、「1～5歳」が77.8%、「6～12歳」は49.3%となっています。

Q39.保護者による仕上げみがきの頻度

【前問で「自分でみがいた後に、保護者がみがく」と「自分でみがかず、保護者がみがく」を選んだ方】
 保護者がみがくのは、週に何回くらいですか。（単一回答）

■ 毎日 ■ 週に5～6回 □ 週に3～4回 ■ 週に1～2回 ■ 無回答



保護者による仕上げみがきを「毎日」行うと回答した人の割合は、「1～5歳」が93.0%、「6～12歳」で70.3%となっています。

Q40.園や学校で実施する歯科健診

【こども園・保育園・幼稚園等に通園、小学生、中学生、高校生】

園や学校で実施する歯科健診を受けて、ご本人が治療を勧められた場合、次のどれに当てはまりますか。（単一回答）

■ 勧められたらすぐに行く ■ 痛みを感じたら行く □ 行かない □ 無回答

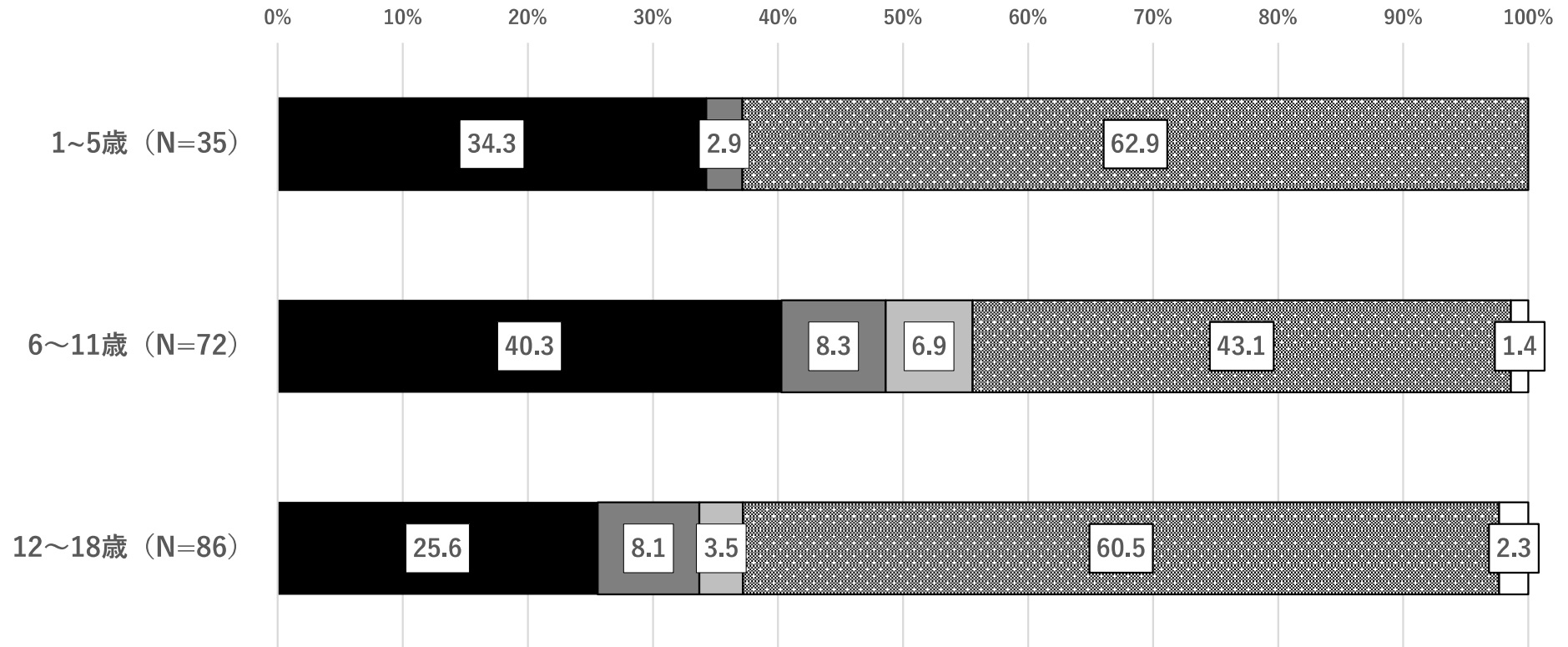


園や学校での歯科健診にて治療を勧められた場合、「勧められたらすぐに行く」が“1~5歳”“6~11歳”では97%を超えていますが、“12~18歳”では82.6%に留まっています。

Q41.園や学校での歯みがき

【こども園・保育園・幼稚園等に通園、小学生、中学生、高校生】
 ご本人は、園や学校で昼食後、歯みがきをしていますか。（単一回答）

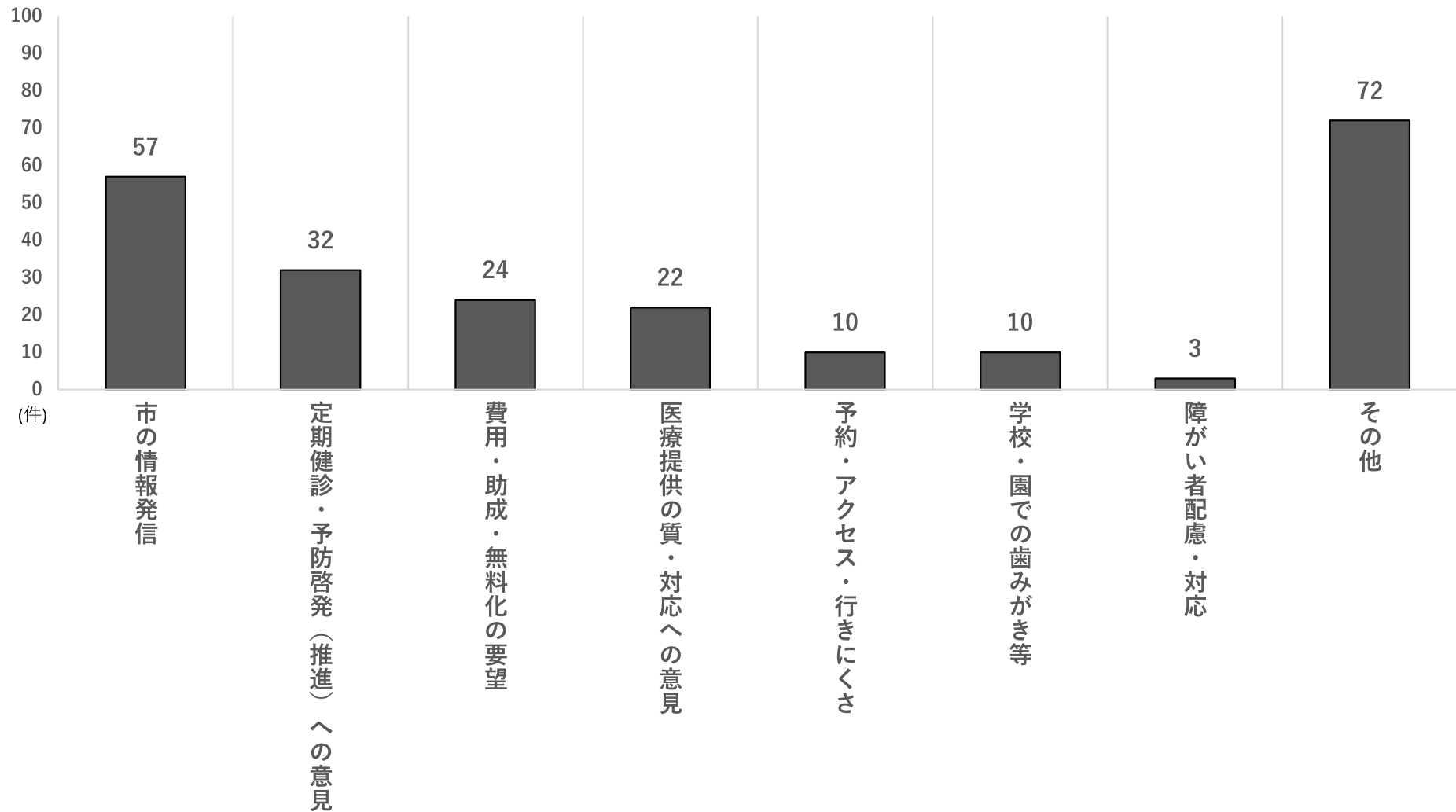
- 毎日みがいている
- 週に1～2日みがいている
- 無回答
- 週に3～4日みがいている
- 歯みがきはしていない



園や学校での昼食後の歯みがき状況は、“6～11歳”では「みがいている（毎日＋週3～4日＋週1～2日）」が55.5%でしたが、その他の年代では、「歯みがきはしていない」の割合が高くなっています。

Q42.市が行っている歯や口の健康づくりに対するご意見（自由記載）

本市が取り組む、歯や口の健康づくりについて、普段、感じられていることがあれば、御自由にお書きください。（自由回答をグルーピング）



【市の情報発信】自由回答一覧①

No	年齢	性別	意見
1	2	男性	静岡市がどんなことを取り組んでいるのか知りません。
2	5	男性	歯や口の健康づくりの取り組みについて全く知りません。
3	8	女性	市としての取り組みとして何をやられているかが分からない。
4	8	男性	何をやっているのか、知らないです
5	19	女性	歯磨きの重要性は理解していましたが、取り組みについては特に印象はないです。
6	22	女性	取り組まれていることを全く知らなかった。
7	27	男性	市が歯や口の健康づくりを行なっていることを知らなかった。受診を促す通知が個人宛にあると、病院に行くきっかけになると思う。
8	31	女性	静岡市が歯や口の健康づくりに取り組んでいること自体知らない。
9	34	女性	市が歯や口の健康づくりに取り組んでいる様子が全くわからないので、アンケートが送られてきて驚いた。歯科医が多くどこにかかったら良いか迷う。
10	34	女性	取り組んでる活動を全然知らないで、普及がうまくいってないのではないのでしょうか。
11	37	女性	静岡市が歯や口の健康づくりについて取り組んでいることを知らなかった。市が何をしているか見えません。推進しているけど、乳児の歯磨き講習、任意になりましたね。
12	38	女性	積極的に何か活動をしているという認識がない。
13	39	男性	何をしているか知らない
14	41	女性	地域の歯科医院にお任せしているので、静岡市としての取り組みが理解できてませんでした。
15	42	女性	どのような取り組みがあるのか、あまり知らない。
16	42	女性	どんな取り組みをされているのか存じ上げません。広報誌やHP以外でも広く知らせていただけるとありがたいです
17	43	女性	静岡市は歯と口のイベントやっていますか？浜松では行ったことがあります。
18	43	女性	何も知らない
19	44	男性	このアンケートが来たことで取り組みをしていることを知りました。更なる発信を継続的にしていけば認知が広がると思います。
20	45	女性	今回のアンケート調査で分からなかったことが分かりました。もっと歯科医院や、市からの健康診断と一緒に、又は静岡のテレビで教えて頂きたいです。
21	45	女性	静岡市が歯や口の健康に取り組んでいることをあまり知らないです。

【市の情報発信】自由回答一覧②

No	年齢	性別	意見
22	47	男性	アナウンスが足りない（わかりにくい）為よくわからない
23	48	男性	このアンケートで取り組みを初めて知りました
24	48	女性	取り組んでいることを知らない。
25	49	女性	取り組みについてほとんど知らない。情報を目や耳にすることがない。
26	50	女性	市の取り組みは、あまり知らなかったのもっと公に取り組んでいる事を多くの方が目にするポスターや発信をしてもらいたい。
27	51	女性	市が歯と口腔の健康づくりの推進をしている事を知りませんでした。歯は健康で長生きする上で重要ですので、活動についてもっと広報した方がいいのではないかと思います。たまに歯医者に行った時にポスターを見るくらいしか情報に関わる機会がありません。
28	51	男性	取り組みに全く気づきませんでした。もっと周知しても良いかと思います。
29	52	女性	どんな取り組みをしているのか、分からない所がある。いい取り組みをしているなら、活用したいと思う。情報がもっと気軽に知れるといいと思います。
30	52	女性	何も知っていることがないです。
31	53	女性	市として取り組んでいることについての情報は、正直なかなか目にする機会がなく、積極的に情報収集する意思がないと触れることがない気がします。まずそういった取り組みがあることとどこで詳細を知ることが出来るのかについて、もっと周知されると良いと思います。
32	56	女性	口腔について市が色々な事に取り組んでいる或いは取り組もうとしている事を知れて良かったです。
33	57	女性	歯や口の健康は、自分自身の心掛けであると思っていたので、本市での取り組みがある事は知りませんでした。
34	59	女性	知らない事が多いので、色々な方法で発信した方がいいのでは
35	59	男性	具体的な事業内容が見えない
36	61	女性	市の取り組みを知らない人の方が多いと思う。一般健康診断のように歯科の検診助成も広く周知する必要がある。
37	62	男性	アンケート封書が届き、初めて口腔保健支援センターがあること、口腔ケアへの取り組みを知りました。
38	64	男性	歯や口の健康についての取り組みをしているのは知らなかった。忙しい世の中で広報やインターネットを普段見ない人がほとんどだと思われる。公共サービス全般に言える事ではあるが、必要な人に必要な情報を届ける工夫が必要。費用がかかっても該当しそうな人に個別に案内を郵送するのは、有効な情報伝達の手段の一つだとは思う。

【市の情報発信】自由回答一覧③

No	年齢	性別	意見
39	64	女性	もっとPRをしてほしい。
40	65	女性	感じられる事はありませんでした。（知らなかった）このアンケートが来てはじめて知りました。自分で気をつけるものだと思っていました。
41	66	女性	テレビ、ラジオなどCMとかでもっと情報が知りたい。
42	66	男性	静岡市が歯や口の健康づくりに力を入れている事は知らなかった。アピールが足りないのではないかな？
43	67	女性	本市が取り組んでいることを知らなかったので大々的に公表したほうがいいと思います。またこのアンケートの結果をなんらかの形で知りたいと思います。アンケートのご協力だけで終わらせないでください。結果を是非知りたいです。
44	69	女性	以前歯周病検診の葉書を頂いたことがあります。ただそれ以外の市の取り組みについてはわかりません。
45	71	女性	本市の取り組みが周知されていない。
46	71	男性	歯周病検診についてもっとPRしてほしい。
47	73	女性	市が取り組む情報をもっとわかりやすく多くの市民に知らせて欲しい（市民だよりなどで）
48	76	女性	8020運動知らない。教えてください。
49	76	男性	市が歯の健康作りに取り組んでいる事を知らなかった。今後は参考にします。
50	77	女性	親の介護などで中断してしまった治療。市の取り組みにもっと自分の事として向き合っていればと思うことが多いです。
51	78	男性	知らない事が多すぎました。
52	81	女性	歯科医でフッ素を塗ってもらうことを知りませんでした。近々歯医者さんに行くので相談してみます。
53	82	女性	市で口腔ケアに取り組んでいるということを知らなくて私は定期的に歯医者のお世話になり今でも丈夫な歯でいれることを感謝しています。ありがとうございます。
54	84	男性	市が口腔保健センターに取り組んでいることをはじめて知りました。私のまわりでも歯の健診を受けていない方が多くおります。
55	85	女性	私達（85歳）は良いことであっても難しい。詳しいことはあまり知ることがないので老人足ることのできる良い方法で教えてください。老人会、ふれあいの会など。
56	87	男性	健康に関する情報や知識を広報誌などに必ず記載する。市が発行する封筒などに一口メモとして健康知識を登載してください。
57			市の健康づくり、口腔保健支援センターを知らなかった。私は一年に1回歯科にそうじをかねて見てもらっています。歯ブラシのつかい方を教えてもらいます。